くなりました。

となりました。

享保十二年(一七二七)九月の建立分

住友燈籠について、最も古いものは、

で、五代友昌による一対二基と、住友武

を形成し、現在の住友グループの源流豪商となりました。近代には住友財閥し、家業の発展により諸国に知られる

別子銅山(現愛媛県新居浜市)を開発 「吉左衛門」を代々襲名、四代目友芳が

などから、この近辺におけるアシの分シ(ヨシ)に年貢がかけられたとの記述 今回はマコモ (真菰) について述べよう 布を推定してみましたが、同じ手法で、 と思います。 寺田家文書の中に、慶長三年(一五 号)では、古文書にあるア

で、みよも池 (\*\*\*依網池) に生育するマ交わした覚書 (写真①) があり、その中 のとなっています。 (写真②)によって決められた公式なも 豊臣政権の検地奉行が出した裁定書 コモについて、苅田が2/3、我孫子が 九八) 三月十五日付の我孫子村と取り これは両村が勝手に決めたのではなく、 /3の刈取権があると定めています。

されていたと思われます。また、出雲大 ましたので、これに対する権利も重視 モ・ヨシズの材料等、広く利用されてい れませんが、江戸期は、牛馬の飼料やコ 現在では、食用にするマコモタケや、 や「茅の輪」に使用されています。 敷いた上を宮司が歩いたり、「しめ縄」 社では、「マコモ神事」として、マコモを \*コモ(菰)の材料ぐらいにしか利用さ 穫に関するものになります。マコモは 水池である依網池に生えるマコモの収 これは当地にあった、古代からの貯

ばれます。(写真③) 科の多年草で、別名ハナカツミとも呼 マコモは、日本全国で見られるイネ

第19号 2024年(令和6年)6月1日発行

ものでしたが、都市部では見かけな 水辺では一般的な草本で、なじみ深

住吉公園一五〇年記念事業

住吉公園

発行日:2024年6月1日(季刊:3月:6月:9月:12月発行)

明治6年に開設して150周年を迎えた大阪府営住吉

公園の歴史探訪誌として、2018年12月から季刊で

第16号まで発刊してまいりました。2023年7月刊の

『住吉公園と住吉さん』編纂による一時休止後

2023年12月より再刊しました。ぜひとも住吉公園、 大社界隈の悠久の歴史地理をご堪能ください。

かれていないように思われます。千躰あ 前の国絵図にも直接的なつながりは描 その記述は見られません。また、元禄以 面への水路が延びていました。 であったようです。この池からは、苅田 が、面積が33ヘクタールと広大なもの は二~三メートルと浅かったようです 地を西岸とする人工のため池で、水深 灌漑の中枢を荷って からの池で、新大和川付替えで消滅す すが、地形的に無理があり、中世以降、 への水路があったように書かれてい を始め、我孫子、杉本や現在の長居方 なまで狭山池と連動して、この地域の 古代史の本には、依網池から細江川 依網池は、古事記にも現われる古代 いました。 上町台 ま やそとろくう 天生,他几 なのないとう ひとる 人名 をからん 仕りをずりいら 仕あま ころつようち てくくいまれず

怪の内の私

ようく 石

シワかとろ

かったちの

「申定おほ みよも池まこも刈取権に関する覚書

まての間を三ツニふミわけ、くし取二仕はへ不申所も、堤の内の根より水きわ残る二分ハかツたの分也、又まこも一切 見よも池 (依網池) まこと生候分三ツニふミわけ じとり二仕、北壱分あひこへ取申 (下略)」

三分一苅候様堅申分、兵部百姓

細井川の水辺の植生は依網池と大き

たとえ直接的なつながり

が

なくとも、

く異なってはいないと思わ

れ、この地域

(寺田孝重)

ベコモ(菰)

マコモを粗く編んだむしろのこと

にも生育していたものと推察されます。

ません。

たりで水路が接近していたのかも知れ

写真③マコモの花 合でくじを引いて決めていました。 三分の一は我孫子村、三分の二は苅田村の割について、写真②の文書の裁定に従い、まこものについて、写真②の文書の裁定に従い、まこもののままこも(牛馬の飼料や下草に利用)の刈取権 マコモは、日本ではすだれ、 むしろやこもの材料の他、牛馬 の飼料や緑肥などとして利用さ れていますが、中国では黒穂菌

して食用されています。 りません。

に感染し、徒長軟化したものを マコモタケと呼んで食用にしま す。また、北米の類似種は、種子 がやや大きく、ワイルドライスと マコモの花期は、8月から10 月頃で大きな花穂になります。 この穂の上部は雌花で黄緑色、 イネのような芒(のぎ)があり、 下部は雄花で淡紫色で芒はあ

> 「(前略) 御百性三分二苅 まこも之儀貴殿

申究候

まこも池(よさみ池)は、この地域の大池で水ます。 この文書に署名している観音寺詮舜、もう一方の当事者である今井兵部(あびこ村領もう一方の当事者である今井兵部(あびこ村領もう一方の当事者である今井兵部(あびこ村領を)の言い分も聞いて、文禄検地を担当した検えが浅く、まこもなどの生育に適していたと思深が浅く、まこも池(よさみ池)は、この地域の大池で水まこも池(よさみ池)は、この地域の大池で水まった。 を示しています。 もに関する小物成についての論争に対する判定た文禄検地の検地奉行達であり、依網池のまこた文禄検地の検地奉行達であり、依網池のまこ御牧勘兵衛、朽木河内守は、豊臣秀吉が実施し (解説) この裁可文書は、署名・花押がある本文書で、

(株式会社美交工業・NPO 法人釜ヶ崎支援機構)

お問い合わせ:住吉公園管理事務所 電話 06-6671-2292

発行:都市公園住吉公園指定管理共同体

預っていたものと思われます。この文書は写しるべきものですが、論争の当事者である当家本来は宛先である片桐旦之家に保管されて 村の重要書類となってい

観音寺詮舜等検地奉行衆連署書状 ありかのあっ いなからろ 多数百 文が多 とうなら 好 人也 CAN CAN 1 Charles 1

~ えが付

しから

お野な

編集委員:水内俊雄(代表、大阪公立大学)、小出英詞(住吉大社)

繁村誠人(NPO 法人 国際造園研究センター)

荒木美喜男(大阪府庁公園 OB)

寺田孝重(苅田土地改良記念コミュニティ振興財団)

櫻田和也(NPO 法人 remo 記録と表現とメディアのための組織

な対象が

(下略)」

り伝えてゆきたいものです。(小出英詞)貴重な文化遺産です。これからも永く守 から年代順に並べられ、同時に説明板園内までの汐掛道に、全二十八基が東結果、現在のように長峡町から住吉公 燈籠の移設整備が行われました。そのは公益財団法人)の尽力によって住友 以上、住吉公園の景観を形成する住 吉神社石燈籠調書』官幣大社住 しました。商都大坂 七 195 公屋子 90 家季  $\Box^{l}$ X D À. 汐掛道に沿って立ち並ぶ住友燈籠(住吉公園内) 60 3 1 14 源 03 至

02

0/

20

10

山名の両一対二基の計四基を建立しま月、五代友昌は再び個人名義と別子銅 暦八年(一七五八)十二月に一対二基 外として、早世した十三代友忠と同母 を建立して以降それが伝統となり、例 の取次によって奉納されたものです。 さらに、六代友記も先代にならって宝 その十年後の元文二年(一七三七)六 代の住友倉庫による三基なども散在. 三七) 六月の一基(前掲と同時期)、近 係の石燈籠として、住吉武道館の前(巽なお、住吉大社の現・境内にも住友関 と豪商の信仰を今に伝える石燈籠は、 友燈籠について紹介 ています。 参道) に五代友昌による元文二年 (一 「住友燈籠の記」も設置されました。

我理右衛門 (泉屋) の息子を婿に迎えて

六五二)を家祖とする商家で、業祖・蘇

₫<sub></sub>

住友家は初代・政友(一五八五~一

から大阪へ進出しました。三代友信より 二代友以として住友・泉屋となり、京都 四基の計二十

八基が立ち並んでいます。

燈籠で、道路沿いに十四基、公園内に十

その名のごとく豪商住友家ゆかりの石

燈籠」と呼び習わしています。これらは、 筋、汐掛道の両側に並ぶ石燈籠を「住友

籠も、住吉大社の有力神職・山上金大夫

日本有数の銅山でした。

いずれの石燈

**汐掛道にならぶ住友燈籠** 

住吉公園と住吉大社を結ぶ東西の道

銅山とは住友家の発展の基盤となった銘で一対二基が建立されました。別子

燈を建立しつづけたのでした。 祈願するため、住吉大社の神前に常夜 全十四対二十八基が現存しています。 四年(一九二九)八月の一対二基まで、 きた海運の安全を祈り、家業の繁栄を や貿易で栄えた住友家は、それを支えて 両名を除いて、 で一時的に家督相続した十四代登久の 銅を中心とした鉱業・精錬業・金融業 十六代友成による昭和

路改修工事にともない支障となったこ とから、側住吉名勝保存会(当時、現在 平成六年(一九九四)六月、駅前の道

1面

二月には「予州別子銅山

住友氏」の

基も建立されています。つづいて、同年十

建立され、住友周豊・入江良久の連名

雄・友房の連名による一基の

計三基が

·梅原忠治郎『住吉화 森口隆次ほか『住友燈籠の移設整備を終えて』

・黒田一充・神武磐彦ほか『すみよっさんの境内と 石燈籠』清文堂出版、令和五年

**鰂法人住吉名勝保存会、平成八** 

明治30年頃の住吉大社鳥居前から南海本線にかけ ての汐掛道の様子。沿道北側(左側)には住友燈籠5 基が描かれている。(明治30年[1897]刊『官幣大社住 吉神社之図』より)

昭和初期の長峡町・汐掛道における住友燈籠の 位置を示した図。 図の上部は路面電車(鳥居前)、図左側の上方が 東で中央が汐掛道。道の両側に住友燈籠16基が 立ち並ぶ。図には示されていないが、ほか7基が 公園内に記載されている。(梅原忠治郎『住吉神 社石燈籠調書』より)



らズーっと走るんや。じゃあ帰りタダや。

たんかわからんけど奉天に居ってんやん。年も二十

結局昭和二十年になって兵隊で満州に。何で行っ

たがな。せやから栗本はちょっと行っただけや。 屋だったから、家の手伝いしとった。電話待ちしとっ

ん。堺商業に行っとった。私は身内商売の仕出.

1 元文二年六月

2 元文二年六月

3 享保十二年九月

5 享保十二年十二月

6 享保十二年九月

8 享保十二年九月

9 享保十二年十二月

7 元文二年六月

10 元文二年六月

11 元文二年六月

12 元文二年六月

13 宝曆八年十二月

14 宝暦八年十二月

15 天明元年九月

16 天明元年九月

17 文化三年十一月

18 文化三年十一月

19 文化八年三月

20 文化八年三月

21 弘化三年十一月

22 弘化三年十一月

23 安政五年十一月

24 安政五年十一月

25 慶応二年五月

26 慶応二年五月

29 昭和四年八月

30 昭和四年八日

31 記載なし

32 記載なし

33 記載なし

28 明治三十一年三月





寄進者

1737 住友友昌 (5代目住友吉左衛門)

1727 住友友昌(5代目住友吉左衛門)

1727 住友友昌 (5代目住友吉左衛門)

1737 住友友昌 (5代目住友吉左衛門)

1758 住友友記 (6代目住友吉左衛門)

1758 住友友記 (6代目住友吉左衛門)

1781 住友友記 (7代目住友吉左衛門)

1781 住友友記 (7代目住友吉左衛門)

1846 住友友視(10代目住友吉左衛門)

1846 **住友友視(10代目住友吉左衛門)** 

1858 住友友訓 (11代目住友吉左衛門)

1858 住友友訓 (11代目住友吉左衛門)

1866 住友友親(12代目住友吉左衛門)

1866 住友友親(12代目住友吉左衛門)

1898 住友友純(15代目住友吉左衛門)

1898 住友友純(15代目住友吉左衛門)

1929 住友友成(16代目住友吉左衛門)

1929 住友友成(16代目住友吉左衛門)

住友倉庫靭仲間 橘伊兵衛

住友倉庫 井上市兵衛・高多八右衛門

住友東倉庫仲間 別所喜太郎・岡本松蔵

住友西倉庫仲間 山崎利右衛門・小西久三郎

1806 予州銅山師 住友友端 (8代目住友吉左衛門)

1806 予州銅山師 住友友端 (8代目住友吉左衛門)

1811 伊予銅山師 住友友聞 (9代目住友吉左衛門)

1811 伊予銅山師 住友友聞 (9代目住友吉左衛門)

1737 佐野繁雄・山中清房

1737 植木勝秀・駒井正秀

1727 住友周豊・入江良久

1727 予州別子銅山 住友日

1737 予州別子銅山 住友氏

1737 予州別子銅山 住友氏

1727 住友武雄・友房



**南海本線 旧住吉公園駅から住吉鳥居前方面の汐掛道の住友燈籠群(**昭和15年撮影)

旧住吉公園踏切より東側、現在の説明板「住友燈籠の記」付近から見て 料理屋の伊賀治(写真中央)や住吉鳥居前にかけての様子。 汐掛道の両側に住友燈籠が立ち並ぶ。 住吉大社所蔵

写真②

住吉大社鳥居前の南西、

配置

V2 北側

V3 北側 V4 南側

V5 北側

V6 南側

V7 南側

V8 南側

V9 北側

V10 南側

V11 北側

V12 南側

V13 北側

V14 南側

V15 北側

V16 南側

V17 北側

V18 南側

V19 北側

V20 南側

V21 北側

V22 南側

V23 北側

V24 南側

V25 北側

V26 南側

V27 北側

V28 南側

015 西側

| 019 | 西側

O22 西側

北側

T5 北側

T6

V1 北側

長峡町の汐掛道南側(旧菊一文字、初辰屋ほか)付近の様子。 同様に住友燈籠が立ち並ぶ。左手は住吉鳥居前。 住吉大社所蔵

写真(3)

住吉鳥居前の北西、旧電車待合所(通称「六角堂」)付近の様子。

友燈籠の一覧表

汐掛道に沿って住友燈籠3基が確認できる。

住吉大社所蔵

境内巽参道

駅前涌り

駅前涌り

駅前涌り

駅前通り

駅前通り

駅前通り

公園汐掛道

神池南西岸

神池中西岸

神池中西岸

山上金大夫

山上金大夫駅前通り

山上金大夫駅前通り

山上金大夫駅前通り

山上金大夫駅前通り

山上金大夫駅前通り

山上金大夫駅前通り

山上金大夫駅前通り

山上金大夫 公園汐掛道

山上金大夫 公園汐掛道

住吉公園 汐掛道沿いの住友燈籠



「予州銅山師 住友氏友聞 三月吉日」

## 「甦る光景」拾遺 その2

語りを、紹介させていただきます。西山氏におかれ した。編集者一同、ご冥福をお祈りいたします。 しては、二〇二四年一月にお亡くなりになられま 第17号に続き、住吉・住之江界隈の地域の記憶の

### 西山脩さん 元料理屋・川竹 二〇二二年十一月十五日ヒアリング 昭和二年生まれ

【小学校の思い出】

生まれは京都。西本願寺の門の前、裏は仏壇屋

親父が商売しとったから

兵

隊行って戦死してし な。親父はそのまま

海軍の船はどこで沈ん 死んでしもた。 たんや。戦争で2人とも 不明や。舞鶴から出よっ だかはわからんで行方 たんやけどな。兄貴も

都やって、おじいさん 小学校ははじめは京

やから、学校は上本町小学校卒業してまんねん。 らって、上本町九丁目に居りましたんやけどな、 がええやろ言うて、 が、大阪の天王寺に隠居部屋もってて、天王寺の方 おじいさんの所へ移住さしても

きって。 せ。せやからあべの橋をピューっと降りて、市電の ろいうて、他のみんな安立の方行っとったからな。で もここらの学校行ってたらあかん、天王寺の方行 (御崎)に住んでたので、学校は天王寺まで行ってま らな。今里にも新地がおましたやろ。で、今のところ もらうために、九時までに行かなあかんねん。だ こ入ったら、九銭で往復切符くれはんねや したんや。まわりは、敷津浦より安立の方がええや 天王寺はおじいちゃんの隠居部屋で、 してたからな。住吉と今里に両方に店があったか んで上町線乗って。一時間くらいかかりまっ 商売を住吉

持って行きましたがな。徴用逃れ、

、歩いて行ったが

遠い

ね

小学校出てからは働きにら行って.

しま

栗本鉄工はみんな行きよったな。私もしばらく靴

【徴用と軍隊】

【公園南側に作られた芸妓居住指定地のころ】 貯めとったんやん。

の浜口からや、浜口の郵便局の裏んとこにあった時 白水園と。新町にもあったからな。せやから、公園南 のに、こう勤めていくって形になって、支店があっち に三軒ほどあったからな。今里の明陽軒と、川竹、 従兄の仕出し屋は今里が発祥や。従兄のやってる

角っこが明陽軒やってん。んで、向かい側の、公園の がってったとこに風呂屋があってな、その裏に、明陽 【西側の新地への移転】 の時分はあちこち自分でできひんから、指定地にみ 竹で、こっち側の角が明陽軒やってん。指定地で。そ の中に入っていくんよ。江川橋や。橋の向こうが: あってん。ほいで、その間をすっと越えたら住吉公園 角っこの方が川竹やってん。 住吉郵便局がおましたやろ。あれの横ず の洗い場やらみんなこしらえたあった。で、そ 押し込みよる。多分昭和の初めから。 川竹の前にタバコ屋が ーっと曲  $\sigma$ 

そのあと、国の命令やからしゃあないねんから

茶屋やさかいな。にぎやかでしたよ。灯りがバッバッやん。それ以外は普通の民家ようけ建ってたよ。おね。もう畑らあらへん。百軒ほどお茶屋があったん てこっちに (住吉新地) みんな移転してきたんです それから、なんやあの、名前が出てこんわ、まとまっ そやから、明陽軒と川竹、源ちゃん、(屋号)ミヤケ、 な。ここ(住吉新地)に移動せなしゃあないんやな。 ハッって、晩になったらな。

小屋 ::

### 【住吉新地】

でお客さんの相手。それはそれで向こうで教育 その芸者指名したら芸者が来よんねやん。それ えたり、なんやしとるがな。それで、お茶屋から しはるさかいね。

屋で行ってないとこもあるやろうしな、ま て二軒も三軒もあるんやから。うち1 行ってるとこもあるやろうしな。中華料理屋か こっちは仕出し屋やから、百軒 くらいのお茶

朝鮮半島まっすぐ歩いて帰ってきましたね。タイ 帰ってくれ帰ってくれ言うてね、なんのこっちゃわか とったんや。だから、足だけ丈夫や。 シュン?の街、きれいな街やなこの街いうて言う らへんけどね。そらもう満州から歩いて鉄砲担いで に夜吠えられたりしたしな。とにかく行け行け、 歳ならんでも兵隊に取りよったからな。みんなで犬

# 【一九四五年三月の大阪大空襲】

分から、明陽軒と川竹ってあったんやん。

焼けてはしません。 電柱は焼けとるし、牛は燃えとるしな。かわいそう りましたよ。朝早う起きてず の、天王寺の方で落としよった、駅前のとことかな に。自転車でダーって走りました。天王寺のうちは んか思てな。んだら駅の方もうみんな焼けとおる。 んがな。飛行機がバ こっちに戻ってきてたから、大阪の空襲おうてま おじいちゃんとこまで見に行ったがな。焼けてへ ーッて空飛んで、で、あの阿倍野 ーっと天王寺のとこま

で

んなん初めから分からへんわ。はじめ競輪場やって ん。競輪で、走っとおってな。それがしばらく行か 【住之江公園】 住之江公園こしらえとるいうて、どうできた、

屋が。芸妓さんとか抱えたあるとこ、三味線教 あんなとこ、と。 おったからな。もうあの、晩に歩いたら怖いな、 ここの新地が百軒くらいあってん大体お茶 、いろんなもん、ず ・っと積み上がっと



昭和31年の住宅地図から茶屋や関連の店舗 施設のおおよその分布

ちゃうんやから、んなもんいろいろ取りよるから、

いってるわ。(水内俊雄) すが)二十年前や、駐車場にしてそれで暮ら う Q 覚えてますか?)なか、なか、仲春やないわ。中糸、 なったらあかんわ。(平成九年にやめたと聞いて やから。たいがい私知ってるけどなあ。そやけども や。キヌヤは川のとこや。ここらも戦後の人ばっかり のえらいさんやん。新地組合のな。(鶴の家とかも確 さんついこないだまでおったや らなあ。親分居るさかいな。加賀家角っこやん。 か公園時代に名前が入ってるんですよ) 全然分から かかわってますよね)うん。もうそこらは住吉新地 こ、大きなお茶屋ばっかりやから、なか梅大きいか んなか梅やな。初の家、なか梅、中糸、これらのと ん。公園からあったん、キヌヤとかね、政乃家、玉屋 風呂屋の角っこやん。加賀家大きいやろ。加賀家 ボケてきたから、出てけえへん。 ん。(先代が保存会に もう九五にも そ ぅ

ら洋食屋だけでも(屋号)カドヤと明陽軒や源ちゃ なん1軒でえらそうな顔してられへんやん。そやか んとあったんやからな。

(住吉新地同盟組合の卜部さんの店の屋号とか